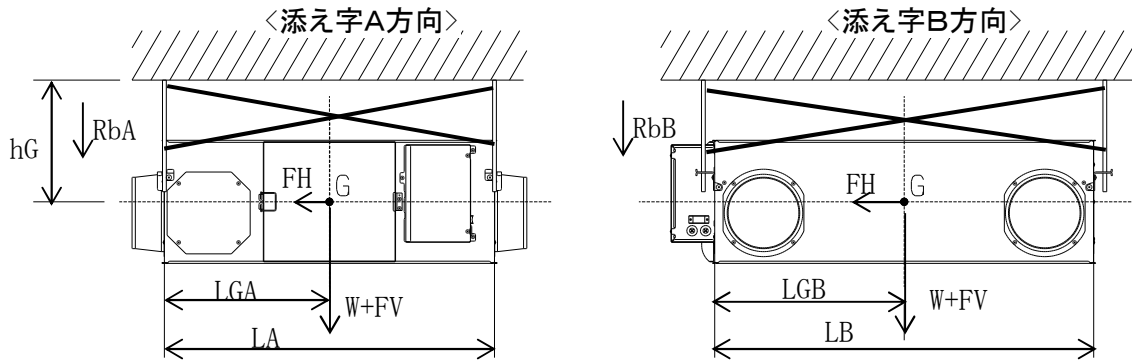


# ■ 業務用ロスナイ LGH-N100RS(D),RX(D) 耐震強度検討書



<計算条件>

製品質量	W = 64.0 kg	ボルトから重心	LGA = 566 mm
重心高さ	hG = 500 mm	までの距離	LGB = 639 mm
ボルトスパン	LA = 1131 mm	ボルトサイズ	M10
	LB = 1278 mm	ボルト総本数	n = 4本
		片側ボルト本数	nt = 2本

各設計用標準震度、地域係数に対する計算結果				
設計用標準震度	KS	1.0	1.5	2.0
地域係数	Z	1.0	1.0	1.0
設計用水平震度	KH=KS×Z	1.0	1.5	2.0
設計用水平地震力	FH=KH×W	0.63 kN	0.94 kN	1.25 kN
設計用鉛直地震力	FV=FH/2	0.31 kN	0.47 kN	0.63 kN
アンカーボルト引抜力		・ボルトスパンA側(RbA) 0.37 kN    0.48 kN    0.59 kN ・ボルトスパンB側(RbB) 0.36 kN    0.46 kN    0.56 kN		
アンカーボルトせん断応力度		* L: LA又はLB, LG: LGAまたはLGB 0.29 kN/cm <sup>2</sup> 0.43 kN/cm <sup>2</sup> 0.57 kN/cm <sup>2</sup>		
各アンカーボルトの短期許容引抜荷重に対する安全率 (コンクリート厚さ120mm以上)				
あと施工金属拡張アンカーボルト(おねじ形) 埋込長さ45mm	短期許容引抜荷重: 3.8 kN	10.2 倍	7.9 倍	6.4 倍
各アンカーボルトの短期許容せん断応力度に対する安全率				
ボルト(SS400)	短期許容せん断応力度: 10.1 kN/cm <sup>2</sup>	35.4 倍	23.6 倍	17.7 倍
ステンレスボルト(A2-50)	短期許容せん断応力度: 9.12 kN/cm <sup>2</sup>	32.0 倍	21.3 倍	16.0 倍
以上の計算結果において、上記アンカーボルトM10はいずれも十分な強度を有する				

- ・「建築設備耐震設計・施工指針 2014年度版」を参照しています。
- ・本検討書は上記条件を元にしたアンカーボルトについての強度検討書であり、製品の耐震強度を保証するものではありません。
- ・「建築設備耐震設計・施工指針 2014年度版」に遵守した施工をお願いします。

N13HBGT0222A